

1 2月8日、旭丘17期の散策と食事会が9名の参加で開かれました。

太田(岡)、小川、木村、近藤(遠藤)、千葉、花田(小出)、松田、水野、そして中村でした。押上のスカイツリー・イーストタワーに6名が集合、東京ソラマチを散策しましたが、混雑で見物も思いにまかせず、喉の渇きを抑えのビールで事前練習。浅草に移動後、六区・花やしきの凌雲閣跡の見学と浅草寺へのお参りを済ませて、雷門・仲見世通りわきの食事会場の「三角(さんかく)」へ勇んでかけました。明治35年創業で110年の歴史を持つ小綺麗で親しみやすい店で、席待ちの列を尻目に急な階段を上って二階の掘り炬燵席へ。改装はされていても、筆者の40年前の記憶と同じ間取りでした。

フグのコースは、先付、テッサ、から揚げ、テッチリ、止めの雑炊まで。下関フグは身の色も濃く味も締っていて、さすがに美味でした。つきもののヒレ酒は、つぎ足しまでしっかり頼んで温まります。鍋料理の手順は、思い出話と昨今話題を話すのにペースが丁度合っていて、笑いの絶えないひと時を堪能しました。

二次会は浅草・神谷バー。電気ブランなどそれぞれ思い思いの飲み物で仕上げて、師走の食事会はお開きとなりました。
(記事：中村、画像：千葉・水野。会は121208(土))



東京スカイツリー 凌雲閣跡付近の解説看板

料理の前のスナップ



ふぐ鍋の前に記念スナップ (上)

最後に「三角」の前で (右)

